

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
18	福永 意人（1）	<p>1. 選挙投票率の向上における取組について</p> <p>令和5年4月23日に執行された富士市議会議員選挙においては、投票率40.92%で過去最低を記録した。さきに執行された富士市長選挙、県議会議員選挙が無投票になったことにより、投票の機運が高まらなかったことも一つの要因だと考えられる。しかし、直近3回の投票率は50%を下回っており、他の選挙も含めて本市の投票率は下降の一途をたどっている。</p> <p>今回の富士市議会議員選挙においては、従来どおり富士市役所及びイオンタウン富士南に期日前投票所が設置された。全体の投票率は前回選挙よりも約2%（4292人）低下した反面、全体の投票者数に占める期日前投票者数は約5%（3432人）上昇しており、その需要の高さが伺えた。また、今後は高齢化率の上昇に伴い、身体的な不自由さなどから投票行動が困難になる有権者の増加も予測されるため、移動支援や移動投票所の選択肢も必要になると考えられる。さらに、従前からの課題である若年層の投票率低下にも積極的に対策を講じるべきである。</p> <p>そこで、以下4点について質問する。</p> <p>(1) 富士市議会議員選挙が過去最低の投票率を記録したことについて、どのように受け止めているか。</p> <p>(2) 平成31年4月21日執行の富士市議会議員選挙の結果を踏まえて、この4年間で投票率の向上のために講じた対策は何か。</p> <p>(3) 富士市における主権者教育の取組によって政治的関心の向上にどのような効果が出ているか。</p> <p>(4) 若い世代の政治的関心を高めるために高校生議会を導入してはどうか。</p> <p>2. まちづくり協議会における人材確保について</p> <p>本市においては、平成26年に、市内26地区全てで、地区住民主体のまちづくり組織であるまちづくり協議会が設立された。また、各地区では令和4年度から令和8年度までの5年間で計画期間としたまちづくり行動計画が策定され、地区の目標とする将来像、課題、活動方針などを基に地域コミュニティの強化が図られている。しかし、大多数の地区では人間関係や地域に対する所属意識の希薄化、役員の成り手不足が共通の課題となっている。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種行事の中止、規模縮小などにより、その動きに拍車がかかっている。持続可能なまちづくりを実現する上では、役員の負担軽減はもちろんのこと、いかにして人材を確保するかが重要である。</p> <p>そこで、以下3点について質問する。</p> <p>(1) 各まちづくり協議会では、人材確保のために、具体的にどのような取組をしているか。</p> <p>(2) 行政では、まちづくり協議会の人材確保のために、具体</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
18	福永 意人（1）	<p>的にどのような支援をしているか。</p> <p>(3)（仮称）まちづくりボランティア登録制度を設け、各地区の地域行事等の人材不足を補う仕組みを導入してはどうか。</p>	<p>市 長 及 び 教 育 長 担 当 部 長</p>